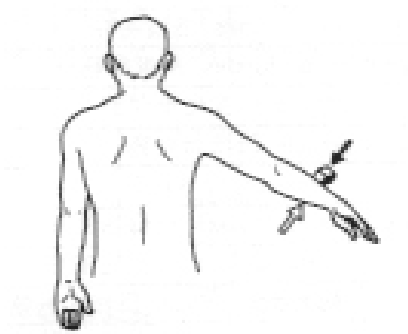


## 筋節（上肢）

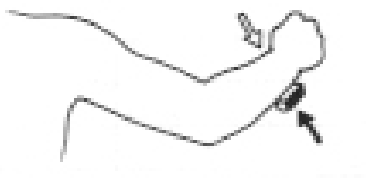
もう1つは筋肉ですね。5番目の神経が傷んでくると肩があげにくくなる、6番目は肘を曲げにくくなる、7番というのは伸ばしにくくなるんですね。8番と1番は指。こういうふうに順番があるんですね。だから頸の骨が折れてしまった場合でもどこで折れたかによって症状が全然違ってきます。これも覚える必要はないのですが、下肢についても、脚を伸ばす場合には2, 3, 4番の神経、脚首を上げるのがLの5番というふうに大体、筋肉の働きによって神経の支配が違ってきます。



三角筋 (C5,6)



上腕二頭筋 (C5,6)



上腕三頭筋 (C7,8)



母指内転筋 (C8,T1)



背側骨間筋 (C8,T1)

神経根と筋節の関係

C 5 : 肩をあげる

C 6 : 肘を曲げる

C 7 : 肘を伸ばす

C 8 : 手の握る

T 1 : 手を開く